

2万人の「命の道」実現に向けて合同避難訓練

堺市の臨海工業地帯(築港新町)は内陸につながる道が臨海1号線の一本のみ。しかも津波や高潮の浸水リスク、地震による液状化リスクの高い道(右図参照)。ならば、**災害時だけでも企業(工場)の敷地内を通れる道を作れないものか**と、私たちの会派が粘り強く働きかけを続けてきました。そしてこの度、堺市が主導し、4つの企業の協力のもと、各企業の敷地をまたいでの緊急車両の通過、徒歩避難の訓練が実施されました。**避難経路の複数確保は防災の基本**。

この流れを他の企業にも広げ、公道が通行不能になっても、被災者が孤立しないよう、約2万人が働く地区の「命の道」の整備を目指します。



関西電力から、UBE(株)の敷地に入る緊急車両



三菱マテリアル、ハイドロエッジ、関西電力の社員がUBE(株)へ避難



給食センターを視察

6月から中学校給食がスタートしています。それに先立ち、南区にある第二給食センターを視察。野菜、肉・魚など、食品ごとに別々の搬入口が設けられていることや、加熱前後で動線を別にするために床が色分けされていること、調理エリアの内外をガラスで区切って食品は小窓で受け渡しし、人が行き来しないようにしていること等々。**決して食中毒を出さない**ための、衛生面での工夫がなされており、安心しました。一方で、実際に給食が始まると、「量が少ない」「配膳が大変」など、多くのご意見をいただいています。特に2か所しかない給食センターからの堺市全域への配送は、時間的にかなりタイトです。少なくとも、それが**教育現場への負担とならないよう**、一つひとつの課題の改善に努めます。



給食センターの門前にて



食品別の搬入口



色分けされた加熱前後の動線



ガラスで区切られた調理エリア

ご意見をお寄せください! FAX: 072-320-0103
Mail: takeshi_fuchigami@yahoo.co.jp

議員の仕事は、市民の声を市政に届けること。まずは「聞くこと」です。皆様のご意見、ご不満、お困りごと、何でもお聞かせください。政策立案に活用させていただきます。

お名前: TEL:

住所:

※匿名でも結構ですが、ご連絡先をご記入くださいましたら、必ずお返事いたします。

ふっちーのつぶやき (編集後記)

野球少年である息子と、友達のYくんの話になり「Yくんのお父さんは野球が上手だから、Yくんもすぐ上達するだろうね」と私が言うと、すかさず息子は「悪いけど、うちは所詮パパだからね」と！なめられたもんです。この生意気さは誰に似たのやら…。親の顔が見てみたい!



堺市議会議員 (堺区選出・無所属)

2025夏号

ふちがみ猛志 議会活動報告 41

活動情報発信中!



【ふちがみ猛志市政相談所】
堺区新町2-4 小山電ビル2F-A1
TEL/FAX: 072-320-0103

初めての建設委員会

今年度、**建設委員会の所属**となりました。議員11年目で初です。これまでは健康福祉委員会や文教委員会に所属することが多く、子育て、福祉、教育が中心テーマでした。いま堺区では高野線の高架化事業、堺東の再開発、なにわ筋線の開業(関空～堺駅～梅田がつながる)など、**まちが大きく変わるビッグプロジェクトが目白押し**です。そこに堺区選出議員として深く関わっていきたい! そう考えて、今年度はまちづくりを担う建設委員会を選びました。他にも、道路や水道管等のインフラ更新、公園の整備、公共交通の維持、空き家対策など、生活に身近な課題に取り組んで参ります。



高架化に伴い駅ビルの更新も必要



堺消防署の跡地活用も重要課題

会派を超えた議員座談会

NPO法人ママオアシスさんの企画で、会派(政党)の違う5人の議員が集まって、子育て中のママを対象とした座談会を開催しました。議員の座談会は、たいてい自分の支持者を集めたもので、高齢の方が中心、議員は単独か仲間内でやるのが一般的。多様な政党が集まり、子育て世代が中心というのは、極めて稀です。会は終始なごやかで、議員のふところ事情から家族の苦労などにも話が及び、ざっくばらんで笑いにあふれた会となりました。こんな会が当たり前になれば、政治がもっと身近になり、政治の質も上がるだろうと思います。お声がけ頂けたら、私は喜んで参加させてもらいます!

もくじ ぜひ2ページ目以降もご覧ください!

- P2. 海上交通が関古島 / サプライチェーンで人権尊重を
- P3. 保育所は空いているのに利用不可 / 部活動指導員 等
- P4. 臨海地域で合同避難訓練 / 給食センター視察

大阪関西万博 盛り上がってはいるが

大阪関西万博が開催中です。連日大勢の人が来場していますが、開幕から2ヶ月強で想定来場者数の1日平均である15万人を達成したのは、わずか2日。開催期間全体の**想定来場者数2820万人の達成は厳しそう**です。始まった以上は少しでも盛り上げて、その恩恵が堺にも及ぶよう、今からでも努力はしなければなりません。一方この甘い想定のもと、堺市も過度に期待し、**約10億円の関連予算を支出**してきたことについては、検証が必要です。議会のチェック機能が問われています。(6/20作成記事)



万博の開幕前のテストランに参加



20人以上の方が参加。そして集合写真でもすぐ見つかるオレンジな私(笑)



左から信貴良太議員(自民)、大西耕治議員(公明)、藤本幸子議員(共産)、藤井載子議員(維新)、そして私(無所属)! 楽しく、貴重な機会でした!

夢洲への海上交通が閑古鳥…

乗客ゼロでの出航

堺旧港から万博会場の夢洲まで船で行けるのはご存じでしょうか。堺市が1500万円(+大阪府が4500万円)を投じて棧橋を整備し、民間事業者が運航を開始。

万博開幕直後の4月17日、その状況を確認すべく現地に行くと…、なんとその日の10:30発の第二便は乗客ゼロ！せめて私だけでも…と、直前に乗船を申し出たところ、「30分前のネット申し込みが必要」と断られ、船は乗客ゼロで出航して行ったのでした。



堺旧港発着のミャクミャク号

サバを読んだ議会への報告

そこで5月末の本会議にて、乗船者数のデータを出すよう求めたところ、「午前中の乗船率が2割未満、午後が1割未満」というざっくりした返答。事業者の意向で、細かいデータは出したいくないと言うのです。公金を支出した以上、そんなことは許されないと指摘し、一週間後の再提示を求めました。すると出てきたのが「午前中17.6%、午後4.4%」というもの。嘘ではないにせよ、4.4%を「1割未満」と表現していたとは、なんといい加減な話でしょう。



私の質疑を受けての6/10朝日新聞(抜粋)

サプライチェーン全体で人権尊重を

国連が採択した「ビジネスと人権の指導原則」は、企業がサプライチェーン全体で人権尊重に取り組むことを求めています。これに照らせば、堺市が公共事業を発注する際、元請けだけでなく、下請け、孫請け、資材納入業者にまで視野を広げて人権尊重に取り組まねばなりません。一方で、不当労働行為(=人権侵害)が認定された事業者が、下請けや資材納入業者として公共事業に参画し、税の恩恵を受けている事例があり、これまで堺市は「元請けなら入札資格停止処分だが、下請けなのでどうしようもない」との消極的姿勢を続けてきました。今議会で「ビジネスと人権に関する指導

公金の恩恵で事業することの意味

バス交通等、市民生活に不可欠な事業への支援ならばともかく、この海上交通は経済効果をアテにした事業です。支出に見合った効果が得られているのか、検証するのは当然。昨今、市の予算や市有地などを活用した民間の事業が増えています。事業者選定にあたっては、市民(=議会)への報告義務があることを、あらかじめ業者にも理解してもらう必要があります。

便名	平均乗船者数	平均乗船者率
1便 堺旧港 9時発	29.9人	20.5%
2便 堺旧港 10時半発	21.4人	14.7%
3便 堺旧港 16時発	4.5人	3.1%
4便 夢洲 17時発	6.2人	4.2%
5便 夢洲 20時半発	10.1人	6.9%

私の質疑を経て公表された4/13~6/2のデータ

宣伝不足は明らか

料金の高さ(片道3800円)や、第一便でも万博のオープン(9時)に間に合わないこと、事前予約制で融通が利かないことなど、海上交通の低迷の原因が指摘されていますが、一番の原因は宣伝不足。乗船した方の評判は上々です。船でしか味わえない景色と時間が、そこにはあります。1500万円を支出した以上は、少しでも見合った効果を得られるよう、努力したいものです。当局に発信強化を求めましたので、私も微力ですが発信していきます！



海からの夜景も好評

保育所は空いているのに利用不可

ある双子の保護者からの相談

Aさん夫婦は育休中。2才の第一子と5か月の双子の計3人の子を大人2人でみていますが、半年後には夫が育休から復帰予定。そこで「3人の子どもを1人では到底みれない」と、第一子の保育所の利用を希望したところ、堺市の答えは「No」。Aさんの自宅そばの公立保育所に空きがあると言うのにです。



保育施設の利用条件と自治体の裁量

当局は「就労、妊娠・出産、疾病、介護等の、国が定めた保育所利用の要件にAさんは合致しない」と言うのです。ただ、国は「その他」という要件も設定しています。それは、自治体の裁量で困っている人を助けるためです。私はこの「その他」を適用すべきケースだと訴えましたが、当局は「公平性に欠く」と返答。そこで「1人で3人の乳幼児をみれるか」と問うと、どの職員も「無理だ」と答えます。Aさんに空いた

部活動指導員は一向に増えず

教員の多忙化改善に向け、全国的に中学校の部活動指導を外部人材に委託する動きがあります。しかし堺市ではここ何年も、市全体で部活動指導員が18人のままで一向に増えず、やる気が感じられません。堺市の中学校は43校ですから、半分以上が未配置。当局は「最終的にどこまで増やせばいいかわからないので、増やせない」旨の弁明をしています。一方、教員アンケートでは「他にやる人がいなかったの」という消極的理由で部活動顧問になっている教員が、全体の

古川下水ポンプ場が完成

大量の雨が地盤の低い地域の下水に流れ込んだ際、それをくみ上げて海に放出して浸水を防ぐ古川下水ポンプ場の完成により、堺区の浸水リスクが大幅に低減。喜ばしいことですが、一方で施設のディーゼルエンジンの黒煙に、近隣住民が困惑しています。建設時の近隣への説明不足を指摘し、改善を要望。当局は環境測定の上で対策を講じる旨、答弁しました。



巨大なディーゼルエンジン

保育所の利用を認めたところで、いったい誰が「不公平だ」と言うのでしょうか。市長にも見解を問いましたが、Aさんの状況に寄り添う姿勢はありませんでした。

柔軟な空きの活用とアウトリーチの福祉

この件を通じ、当局に求めた1点目は保育所の空きの柔軟な活用です。少子化で、堺市は5年連続待機児ゼロ。今後、保育所の空きは増え続けます。要件に合致せずともお役所的に排除せず、困っている人に寄り添って対応すべきです。2点目はアウトリーチの福祉です。Aさんは妊娠・出産(8週以内)時に申し込んでいれば「妊娠・出産」という要件に合致し、(その後も含め)保育所を利用できましたが、当時はそれを知らずに申し込みが出産5か月後となってしまい、利用不可に。訊かれなくても、役所の側から進んで制度を伝え、妊娠時に利用を促すべきだったのです。これで諦めず、市の姿勢を変えるべく訴え続けます。



約1/4、200名以上にも。教員の多忙化やモチベーションの低下につながり、さらには顧問の専門性のなさが原因と見られる事故も発生しています。四の五の言わず、部活動指導員を段階的に増やすべきだと強く訴えました。当局は、今年度中は予算のやりくりによって、たとえ数人でも増やすこと、来年度以降には予算増額に取り組むことを表明しました。



子どもの声が政策に

子ども・子育て支援施策の計画について審議する子ども子育て会議の委員に、当事者である子どもがないのはおかしい！私の訴えて、今年度から委員公募に「子ども・若者枠」が設けられました。子どもの声を政策に反映する第一歩です。学校や保育所のあり方、障害児の支援、公園の整備等々、子どもが当事者である行政事務は山ほどあります。その一つひとつに声を反映させられる仕組みを整えていきます。

